

民族舞踊文化



No.37 令和7年(2025)5月23日

THE MAYUZUMI FOUNDATION FOR TRADITIONAL FOLK DANCE

一般財団法人 黛民族舞踊文化財団

〒107-0052 東京都港区赤坂3-10-3 黛ビル4F

TEL 03-3583-3633

FAX 03-3583-3639

HP



研修成果発表会より

ごあいさつ

一般財団法人 黛民族舞踊文化財団

理事長 三隅 治雄

近年多発する国々、諸民族間の兵乱・紛争、また不測に起きる天災・地災。結果、死傷者・飢餓者・難民^{おびただ}夥しく、各地、永年培った生活文化・歴史遺産も無残に破滅・変容。悲惨です。ただ、意外な働きは、日ごろ親しむ歌・踊りの、逆境になると噴き出す反骨の熱気です。太平洋戦争末期の沖縄戦で、廃墟と化した那覇の街中でブリキ缶の三線で口ずさんだ島歌を、ボロ着の民衆が聞いて「沖縄は生きているサ」と抱き合った。また、捕虜収容所で島人が屋嘉節^{かしら}を高唱して復興を誓ったという話。東日本大震災で、三陸沿岸の漁民が、流された頭・衣装をかき集めて伝統の虎舞を演じて、復興への意欲を高めたという。地域社会の苦闘の歴史のなかで溜め込んだ祖^{おや}たちの情念が「地熱」となって、萎えた住民の生気を鼓舞するのでしょうか。民族舞踊はその地熱の身体表現とも言えましょう。当財団は、その地熱の淵源^{もと}を質し、至るところを志向する。舞踊団は、令和6年度は研究成果発表会に終わりましたが、完璧を期して鋭意研修に専念してまいります。ご声援をお願い申し上げます。

「黛民族舞踊団 研修成果発表会」

令和7年2月・会場 黛アート・サロン

今回は、例年のアトリエ公演の趣向を少しかえて、私たちの日頃の稽古風景の一端、その姿のままをご覧いただき、いわば民族舞踊の素踊ー衣裳・化粧・結髪、大道具、照明等無しーの稽古仕様をダイレクトに披露いたしました。流儀流派を名乗る歌舞伎舞踊や上方舞などとは異なる民族舞踊の素の姿の爽快とユニークを感じさせる発表会となりました。

作品は、流祖黛節子の振付・初演音楽ですが、このたびは黛真也、黛李穂の補綴演出・指導のもとアンサンブル構成を試みました。



《プログラム》

一、祝い唄・・・黛 李穂

日本の多くの祝い唄より、豊年満作を喜び感謝する祝いの踊り。祝儀祝宴の序曲に。



二、津軽じょんがら・・・長田珠澄 菜矢

津軽三味線と手のさばきに特徴のあるユニークな振りが、巧妙にして美しく。



三、貝殻節・・・・・・・・戸塚文子 鈴木雅子 吉原久美子

ひなびた情緒あふれる浜辺の漁師たちの踊り。節まわしの奥にかすかな哀愁が。



四、松島音頭・・・・・・・・小山羊子

日本の情緒を大切に残しながら、リズムカルで、松の精を表す所作の入ったモダンな演出。



五、ソーラン節・・・・・・・・野村陽子 長田珠澄 星来

北海道の漁場に湧く大漁の唄声。その歓びを謳歌する、軽快な表情が輝く。



六、想夫恋・・・・・・・・・黛 真也

恋人(夫)を想う心情を元禄風の雰囲気のにのせて踊る。



七、越中おわら・・・・・・・・・野村陽子 戸塚文子 鈴木雅子 吉原久美子 茉矢

男女二組に別れたコロスが、盆踊りの夜袖すり合わせては、別れてゆく。その哀切を群舞構成で描く。



八、豊年唄・・・・・・・・・黛 李穂 小山羊子

コーラスと打楽器で豊年の歓びを表現、祝祭性があふれる。



九、オテモヤン……………黛 真也

別名、熊本甚句のメロディーに乗せて陽気でユーモラスに。しかし哀愁も残る。



十、鹿児島おはら……………出演者一同

軽やかなリズムとコーラスが南国情緒豊かな開放感を誘い、祝祭のファイナルへ。



新宿芸術家協会が主催する多ジャンル舞踊公演。黛民族舞踊団は2017年よりご縁のもと毎年参加しています。第一部は自由な発想による作品集(ダンス・リベルテ)、第二部はテーマによる創作作品集で構成されています。今回のテーマは「祭りの刻」黛民族舞踊団は第二部に出演し、「越中おわら」を披露しました。

「越中おわら」富山は越中八尾の祭り“風の盆”。

男女が袖をすり合わせて踊っては別れていく、盆踊りの情緒を静かな群舞構成によって…

「新宿芸術家協会」は、1990年新宿区在住の舞踊家有志が新宿の芸術環境を良くする会を作るために集い翌1991年、“新宿の芸術を育てる会”として発足。政治・経済・商業の中心である新都心新宿から新しい芸術文化の発信と普及を目的とし“新宿芸術家協会”と名称を改めて活動を開始。2006年からは、テーマによる舞踊創作作品を上演するなど、多ジャンルの舞踊家による特色ある舞踊公演を開催しています。

The Dance Gathering Vol.27 祭りの刻 MATSURI NO TOKI

第1部 ダンス リベルテ(自由テーマ作品集)

- 安達 雅 「咲かぬ睡蓮の池の上で」 【現代舞踊】
安達 雅
- 五味 明美 「隅田川 ～令和を踊る～」 【現代舞踊】
五味 明美
- 雑賀 淑子 「キッチン」 【バレエ】
南 健二 サイガバレエ
- メアリー佐野 「太古を求めて ～In Search of the Ancients～」
【タンカンダンス】
メアリー佐野 乾 ゆうこ(ライヤー演奏)

ゲスト出演

- ナルシソ・メディナ 「世紀末」 【コンテンポラリーダンス】
ナルシソ・メディナ

第2部 祭りの刻

- 鈴木 恵子 「花祭り ～誕生の刻～」 【創作舞踊(中国・インド・マレーシア)】
黒川 妙子 新井卓治 秋葉あかり 四方美紗江 早川光江 鈴木恵子

黛民族舞踊団

- 「越中おわら」 【日本民族舞踊】 振付:黛 節子
黛 真也 黛 李穂 小山羊子 野村陽子 戸塚文子 栗矢
- サトウ 雅子 「Durga ～天竺の秋祭り～」 【インド宮廷舞踊カタクダンス】
松波ひとみ 三上桂子 安井恵 佐藤綾香 畑谷桃子 サトウ 雅子
- 曲沼 宏美 「彼岸」 【Creation dance of Asia】
曲沼 宏美
- 小林 祥子 「Qe Fare」 【現代舞踊】
五十嵐美和 戸塚幸恵 茗井香保里 永古千莉 佐藤実加子 清水碧海 小林祥子
- 大谷 けい子 「祭りの宵 ～平家幻想～」 【ダンスネオシノワーズ】
大谷 けい子 工藤文雄 杉本 音音 塩高和之(琵琶) 玉置ひかり(笛)
- 小林 伴子 「スペインの祭り」 【フラメンコ】
片桐美恵 植田玲子 板倉志津 川口正美 北村和美 利倉美樹
早川恭代 藤井寛子 町井直美 山田かおる 吉田慧美
ダニエル・リコ(歌) 稲津清一(ギター) 小林伴子(カホン)



令和7年度 黨民族舞踊団公演情報(令和7年4月現在)

【自主公演】

2月

黨民族舞踊団アトリエ公演 2025

会 場：黨アート・サロン

詳 細：準備調整中



【参加公演】

6月22日(日) 新宿芸術家協会主催公演 35周年記念公演 The Dance Gathering Vol.28「新宿を踊る」

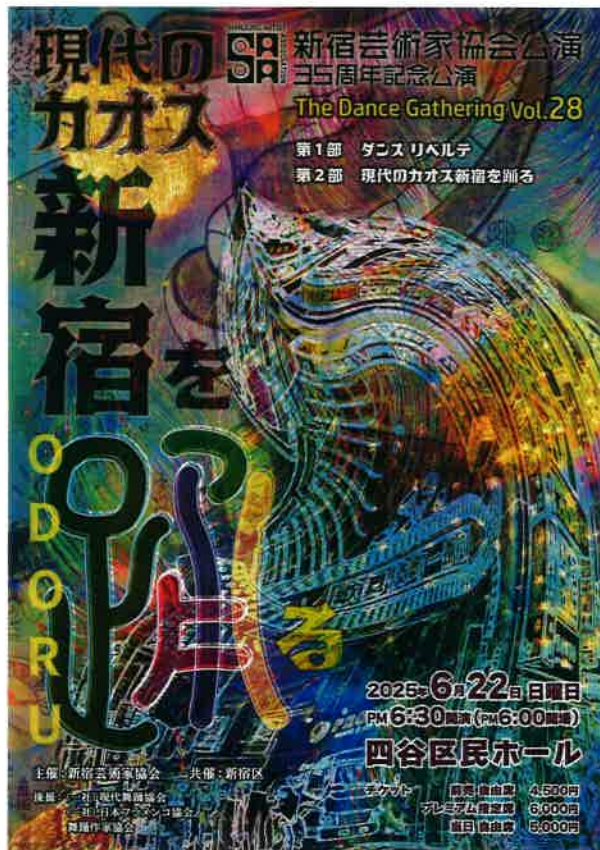
演 目：祝い唄・ソーラン節(黨民族舞踊団) チケット：自由席 前売 4,500円

会 場：四谷区民ホール

当日 5,000円

時 間：開演 18:30(開場 18:00)

チケットのお求めは財団事務局までご連絡下さい。



新宿芸術家協会公演 The Dance Gathering Vol.28
35周年記念公演 現代のカオス新宿を踊る

チケット 前売 自由席4,500円 | プレミアム指定席6,000円 | 当日 自由席 5,000円

第1部 ダンスリベルテ (自由テーマ作品集)	第2部 現代のカオス新宿を踊る
花柳 素光 「雨 流 ～時代の流れ～」 梅原 初美 花柳 素光 梅原 初美 梅原 初美 (原曲)	鈴木 恵子 「染毒 (SOME UTAGE)」 梅原 初美 新井 孝浩 梅原 初美 四方 美紗江 鈴木 恵子
五味 明美 「今 ここに いる こと ～感謝の想い～」 五味 明美	小林 祥子 「Lost City ～湧き出る水のどくどく～」 五十嵐 美紀 小川 幸子 佐藤 美加子 小林 祥子
黨民族舞踊団 「祝い唄・ソーラン節」 黒 真也 黒 真也 小山 幸子 他	サトウ 雅子 「新宿がら宇宙へ」 山本 浩子 山本 浩子 山本 浩子 山本 浩子
難波 淑子 「子供のための三つの詩」 難波 淑子 難波 淑子 難波 淑子 難波 淑子	山本 浩子 「アタラシ」 山本 浩子 山本 浩子 山本 浩子 山本 浩子
タチアナ・コスロバ 「プレリュード ～ショパンから未来へ～」 タチアナ・コスロバ	小林 祥子 「新宿御苑の花園で」 小林 祥子 小林 祥子 小林 祥子 小林 祥子
大谷 けい子 「内藤新居 今はず」 大谷 けい子 大谷 けい子 大谷 けい子 大谷 けい子	

※上演する作品・出演者・プログラムなどは変更になる場合がございます

2025年6月22日(日) 四谷区民ホール 東京都新宿区内藤町87

チケット 前売 自由席 4,500円 | プレミアム指定席 6,000円 | 当日 自由席 5,000円

新宿芸術家協会 お問い合わせ「スタジオK」(大谷) Tel: 03-3320-9834 / Fax: 03-3320-9836

舞踊団員募集のお知らせ

日本の伝統舞踊を学び、舞台上で踊ることに興味がある方は、ぜひ稽古見学や体験レッスンに参加してみてください。黨民族舞踊団では、現地の民俗芸能を基に舞台芸術化した作品を継承し、創造しています。団員は現在15名で活動しており、新しい仲間を募集しています。舞踊団員として活動することで、日本の伝統芸能を学び、技を磨くことができます。また、舞台でのパフォーマンスを通じて、自分の表現力を高めることができます。

詳細は、財団事務局にお問い合わせください。一緒に民族舞踊を学び、黨民族舞踊団の舞台上で踊りましょう！

稽古場：黨アート・サロン(地下鉄 赤坂見附駅 徒歩2分)

稽古日時：毎週月・火・木曜日 18:00 から 21:00

問合せ先：黨民族舞踊文化財団事務局

TEL 03-3583-3633 / FAX 03-3583-3639

E-mail info@mayuzumi.or.jp

home page





令和7年2月研修成果発表会記念写真

一般財団法人 民族舞踊文化財団のあらまし

当財団は、わが国伝統の民俗舞踊を舞台芸術として確立し、その普及向上を図るとともに国際文化交流を行うことを目的として、昭和61年3月文部大臣から設立を許可された団体です。財団設立後は、(1)民族舞踊普及向上のための中央における公演をはじめ、地方巡回公演を活発に行ってひろく一般にこれを紹介し、また研究成果の発表会等を開催し、(2)後継者の育成を目的として民族舞踊の研究者(音楽、振付けを含む)、舞踊家のための研究会、研修会等を開催して創作活動を奨励すると共に技能の向上を図り、(3)日本各地および東南アジア諸国の民俗芸能を取材し、その研究を行うと同時に収集した資料を整理保存して一般にこれを提供し(将来は資料館を設置して一般の利用に供することを計画しています)また、(4)世界各国にはそれぞれ民族舞踊団が国家の庇護のもとに活動していますが、これらの舞踊団との交流や、東南アジア諸国の民俗芸能伝承者たちとの交流等、幅広い国際交流を推進して相互の連携と研鑽につとめ、(5)民族舞踊、民俗芸能に関する資料および研究成果等の出版物を刊行して、民族舞踊に対する理解を深める目的達成のため、年次を追って事業を充実していきたいと考えております。しかしながら、事業を発展充実させていくためには、何と申ししましても経済的基盤を確立する必要があることを痛感いたしております。当財団が、真にわが国を代表する民族舞踊の振興団体として育ってまいりますよう、財団の事業目的を御理解くださり、各界の方々の御支援を心からお願い申し上げる次第です。つきましては、当財団には下記の通り賛助会員規程を設けておりますので、皆様にはぜひ賛助会員として、会費により御支援を賜りたく、お願い申し上げます。

民族舞踊文化財団 賛助会員規程

一、賛助会員とは、この法人の趣旨目的に賛同して入会くださった個人・法人(団体)の方々の名称です。

二、会費寄付の内容は下記の通りです(但し、年間会費として扱わせていただきます。)

- ア、個人の場合 個人会員 五千円以上
特別個人会員 十万円以上
- イ、法人の場合 法人(団体)会員 十万円以上
特別法人(団体)会員 百万円以上

三、賛助会員の特典

ア、特別会員(個人・法人)

- ① 年一回以上公演全ての切符御一名様御招待
- ② 「財団の宴」など種々の行事に御招待

イ、会員(個人・法人)

- ① 年一回以上公演全の切符御一名様御招待

なお、御入会くださいます方は、賛助会員会費寄付申込書に御記入の上、御返送いただきたく存じます。賛助会員会費寄付申込書は、当財団宛に御請求ください。領収書は、銀行にお振り込みいただいた後、お送り申し上げます。

民族舞踊文化 No.37 令和7年(2025)5月23日発行

発行人 三隅治雄 編集 民族舞踊文化財団事務局

THE MAYUZUMI FOUNDATION FOR TRADITIONAL FOLK DANCE

一般財団法人 民族舞踊文化財団

MAYUZUMI BLDG., 3-10-3, AKASAKA, MINATOKU, TOKYO, JAPAN

〒107-0052 東京都港区赤坂 3-10-3 黛ビル4F

TEL 03-3583-3633

E-mail info@mayuzumi.or.jp

FAX 03-3583-3639

URL http://www.mayuzumi.or.jp